

現役学生と寮歌を歌う会

海洋会ボランティアクラブ 事務局長 松崎 光男 (東船大N13)

我々、海洋会ボランティアクラブ・明治丸グループは、海王祭（学生祭）に際しては、「明治丸」や「百周年記念資料館」の案内ボランティアをとおして、協力活動をしている。

毎年、「百周年記念資料館」前のステージで新入寮生が絶叫？する「ああ月明は……」等を聞く度に「あれは寮歌か？俺達の頃とは全く違う曲みたいだ」と、多くのボランティアメンバーが心を痛めていた。何とか寮歌を「歌」として継承させたいと考え、現役学生との交流の機会を探っていた矢先、昨年（H24）晩秋、海洋会に海事普及会（以降 海普会）の役員から、正しい寮歌を知りたいので、寮歌の音源はないかとの照会があり、同じ時期に、海王祭実行委員会から海洋会に寄付の打診があった。

海洋会の紹介で、海普会にボランティアメンバーから音源となるテープを貸出すと共に、ステージでの寮歌斉唱を主催する寮務委員会役員や学生祭実行委員会とも連絡をとることが可能となり、今年（H25）1月16日夕刻、海普会と寮務委員会の主要役員とボランティアメンバーとの「キックオフミーティング」を開催し、共に寮歌を歌い親交を深めることを確認した。

早速、2月21日夕刻には、ボランティアメンバー8名指導の下、海普会メンバーと寮生、約30名

が参加して、第1回目の「寮歌を歌う会」を、85周年記念会館にて開催した。4月になって新入生が入寮し、6月1日の学生祭に向けて、斉唱する課題曲6曲を中心とした練習を、4月11、25日、5月9、23日と4回に亘って、各回とも寮生40数名、ボランティアメンバー6～8名出席の下、学生寮内の多目的ホールで行った。最終日5月23日には、海洋会のご支援を頂き、ボランティアメンバーを車座に囲んで「打上げおむすびパーティー」を行い、親交を深めた。

大学統合により、東京商船大学は東京海洋大学と名実ともに変貌し、学生寮は、全寮制が廃止され、男・女寮生が居住し、食堂は無く、個室化され、飲酒も禁止となっており、寮生は往時の寮とは全く異なる寮生活を行っている。

斯かる状況下、伝統ある「寮歌」が継承されていくのかが心配であったが、この度の経験をとおして、「寮歌」を歌い継ごうとする学生がいて、先輩から真摯に学ぼうとする気概がある限り、上手、下手はともかくも、「寮歌」は歌い継がれていくものと確信した次第である。

「明治丸」の修復工事が開始される今年、引き続き、寮歌の指導を介して、現役学生との交流を図り、将来の「明治丸」ボランティアの養成にも役立てたいと考えている次第である。



新入寮生への寮歌指導



海王祭での新入寮生による寮歌斉唱